

保護者様

勝浦市立勝浦小学校
校長 原田 齊

アンケート調査の集計結果について

春分の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、学校教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました保護者の皆様のアンケート、子どものアンケート、教職員による自己評価を集計した結果と今後の改善点についてお知らせします。

また、学校評価の客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表の方々や愛育会役員による学校関係者評価委員会を1月28日（火）に開催しました。その会議の中で、今回の結果について評価し、提言をいただきましたので、併せてお知らせします。

なお、項目は保護者・子ども・教職員の評価結果から、今年度の重点課題に関連するものを選んで、比較したものです。また、数値については「とてもそう思う」「すこしそう思う」を含めた数値です。

【保護者・子ども・教職員の3者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、毎日楽しく登校している。	94%	97%	100%
子どもは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	88%	96%	88%
子どもは、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	73%	93%	94%
子どもは、よく読書をしている。	35%	70%	68%
子どもは、自分の考えを持ち、学習に進んで参加している。	64%	90%	79%

結果の要点（前回と比較して）

- （保護者） ○学習内容の理解についての数値は高い。
▲家庭における児童の自主性・自発性に関しては満足していない。
- （子ども） ▲読書の評価が前回より約10ポイント下がった。
- （教職員） ○学習指導に関する取組の成果が現れた。
▲考えの表出と読書については、引き続き対策を考える必要がある。



【今後の改善点】

☆ 児童の自主性・自発性（学びに向かう力）を高めるための、家庭と学校の連携のあり方を探っていきます。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、悪口を言ったり、いじわるをしたりせず、友だちとなかよくしている。	95%	95%	84%
子どもは、ありがとう、じょうずだねなどのぽかぽか言葉を使っている。	84%	97%	95%
子どもは、友だちの良いところを認め互いに協力しながら生活している。	94%	97%	95%
子どもは、学校での約束や社会（交通ルールを含む）のルールを守ることが身に付いている。	84%	98%	68%
子どもは、日々の学校生活の中で、笑顔で挨拶している。	70%	86%	63%
子どもは、大人に悩みを相談している。	85%	92%	90%
子どもは、学校や家庭のできごと、友だちのことをよく話してくれる。	90%	89%	90%

結果の要点（前回と比較して）

- （保護者） ▲挨拶や手伝いの評価が前回より約5ポイント下がった。
（子ども） ▲手伝いの評価が前回より約5ポイント下がった。
（教職員） ○認め合いは、約15ポイント上がった。
▲規範意識の評価が前回より約10ポイント下がった。



【 今 後 の 改 善 点 】

☆ 挨拶、手伝いが向上するための方策を探り、自尊感情や有能感を高めていきます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、歯磨きしたり、好き嫌いをしたりせず健康に気を付けて生活している。	85%	91%	74%
子どもは、運動に親しみ、体力の向上を目指して取り組んでいる。	97%	97%	90%
子どもは、何事にもあきらめず、頑張っている。	81%	95%	79%

結果の要点（前回と比較して）

- （保護者） ○「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的な生活習慣の定着に努め、成果をあげている。
（子ども） ○「早寝・早起き・朝ご飯」以外の評価は前回より上がった。
（教職員） ○健康・食生活の充実の評価が前回より約20ポイント上がった。



【 今 後 の 改 善 点 】

☆ 心と体のつながりを重視し、体力と食の一層の充実を図っていきます。

【保護者の学校評価と教職員の自己評価について】

4 「地域とともに歩む学校づくり」のために

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、子どもの基礎学力（読み・書き・計算）の定着に向けて取り組んでいる。	90%	100%
学校は、子どもが授業に興味・関心をもち、意欲的に取り組めるよう様々な工夫をしている。	87%	95%
学校は、自分で考え行動できる子どもの育成に取り組んでいる。	90%	95%
学校は、子どものよいところや頑張りを認め、一人一人に応じた適切な指導・支援をしている。	87%	100%
学校は、いじめのないよりよい人間関係づくりに努めている。	81%	100%
学校は、子どもの悩みや相談にきちんと対応している。	82%	95%
学校は、子どもの健康や食生活の充実のために対応している。	96%	84%
学校は、家庭・地域と連携し、子どもに避難訓練、交通安全指導、不審者対応等で安全意識を高めている。	97%	84%
学校は、平素の教育活動を学年だよりやホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	92%	79%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。	87%	84%

結果の要点（前回と比較して）

（保護者） ○家庭での安全教育に関する評価は、前回より上がった。

（教職員） ○情報発信、外部評価の反映の評価は前回より約20ポイント上がった。



【 今 後 の 改 善 点 】

☆ ホームページや連絡帳を通して、児童が頑張っている姿を知らせ、家庭と学校の緊密な連携を目指します。

【学校関係者評価委員の方々からの主な提言】（1月28日の学校関係者評価会議より）

1 読書・挨拶について

- 読書したり挨拶したりする姿を大人が見せていきたい。メディアの発達に大人が追いついていない面があるが、活字離れやSNS上のトラブルを防ぐ役割を家庭が担ってほしい。

2 安全指導について

- 勝浦小学校は地盤が強固である。授業中に地震・津波が発生しても、訓練どおりに避難すれば安全性は確保できるであろう。問題は、在宅時や外出時に災害が起きたときである。家庭では、避難の仕方や場所をよく話し合ってほしい。

3 その他

- 児童と担任の関係が良好とは言えない学級があるようだ。個別に話を聞くなど、学校は丁寧に対応してほしい。保護者への説明については、状況を正確に把握した上で適切に対応してほしい。
- 卒業式での卒業生の服装について疑問を声を耳にする。保護者に考えてもらう機会があってもよい。

※ 学校関係者評価委員の方々からいただいた提言について、来年度以降、保護者の方々と連携・協力して進めていきます。

【意見・要望】（保護者の皆様からの意見・要望と学校の今後の取り組み等について）

保護者からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
進んで読書できるように、チェックシートの回数を増やしてほしい。	読書の習慣化には、家庭と学校の連携が欠かせません。今回の結果を受けて、手立てを一層充実させてまいります。お願いすることもあると存じますが、よろしくご協力ください。
大人が子供の手本となる振る舞いができるよう、ゴミの持ち帰りや挨拶等、日頃の言動に注意してほしい。	大人のモデルとして児童の前に立てるよう、人としての倫理感、教職員としての誇りと使命感を常に確認してまいります。
子供との信頼関係をつくってほしい。 いま、学級で何が起きているのか、子供の話からだけでははっきり分からないため不安である。 (同様のもの 他4名)	ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。 清掃中に指導を受けた児童が納得できなかったことをきっかけに、ある学級が騒然となった日がありました。当該児童の保護者の方に事情等を説明し、その後継続的に学級を支援しております。 このような事態を二度と招かないよう、常に児童との信頼関係の構築を図ってまいります。
漢字の読み書きや計算の仕方など、必要な学習内容はきちんと習得させてほしい。宿題の量も少なく感じる。 (同様のもの 他3名)	「読み・書き・計算」は学習の基礎となるものなので、宿題も活用しながら確実な習得を図ってまいります。宿題の量については、習得に必要十分であることを目安としています。さらに練習する意欲があれば、eライブラリ等を活用していただければと思います。
卒業遠足を復活させてほしい。	いわゆる新学習指導要領によって、外国語科や外国語活動、プログラミング教育といった内容が加わりました。 学校では、これまで行事の精選を図って時数を生み出してまいりました。しかし、更なる学習内容の増加を受け、卒業遠足を取り止めるという決断を6年生保護者の皆様に説明いたしました。 学習内容の確実な習得を図るため、来年度以降も同じ方向で考えています。ご理解いただきますようお願いいたします。
ネットワーク上に投稿された内容がいじめにつながりそうなので、学校でもSNSの指導をしてほしい。	ネットモラルを含む情報リテラシーについては、国語科や道徳科、総合的な学習の時間をはじめあらゆる場面で取り上げてまいります。実際に操作することが多いご家庭では、適切に管理し、必要に応じて指導していただきますようお願いいたします。
音楽部の指導について、必要なら外部講師を呼ぶなどしてほしい。要望を伝えたが、その後どうなったのかが分からない。 (同様のもの 他1名)	今年度は、前担当には毎週火曜日に、外部講師には7月と10月にご来校いただきました。来年度は、必要ならば外部講師にご指導いただく機会を増やしていくこともあります。慎重に検討し、保護者の皆様に確実に伝えてまいります。
業間マラソンや体力づくりになることをもっと増やしてほしい。	本校の「たくましい体」推進委員会で、体力向上の手立てを検討します。
台風等で登校時刻が遅くなった場合、登校は登校班か各自かが分からないので、統一してほしい。	これまで、登校班の班長及びその保護者の方の判断を班員のご家庭に連絡していましたが、見直しも含めて検討し、地区児童会等で確認します。
卒業式での卒業生の服装を中学校の制服にそろえてしまえば、出費が抑えられ心の切り換えもできるので、学校で決めていいのではないのでしょうか。	普段から学校では、各活動に適した服装をお願いしています。卒業式も、式に臨むのにふさわしい服装をお願いしますが、指定することは差し控えるべきと考えます。6年生保護者の皆様で考えていただく方がよいと存じます。